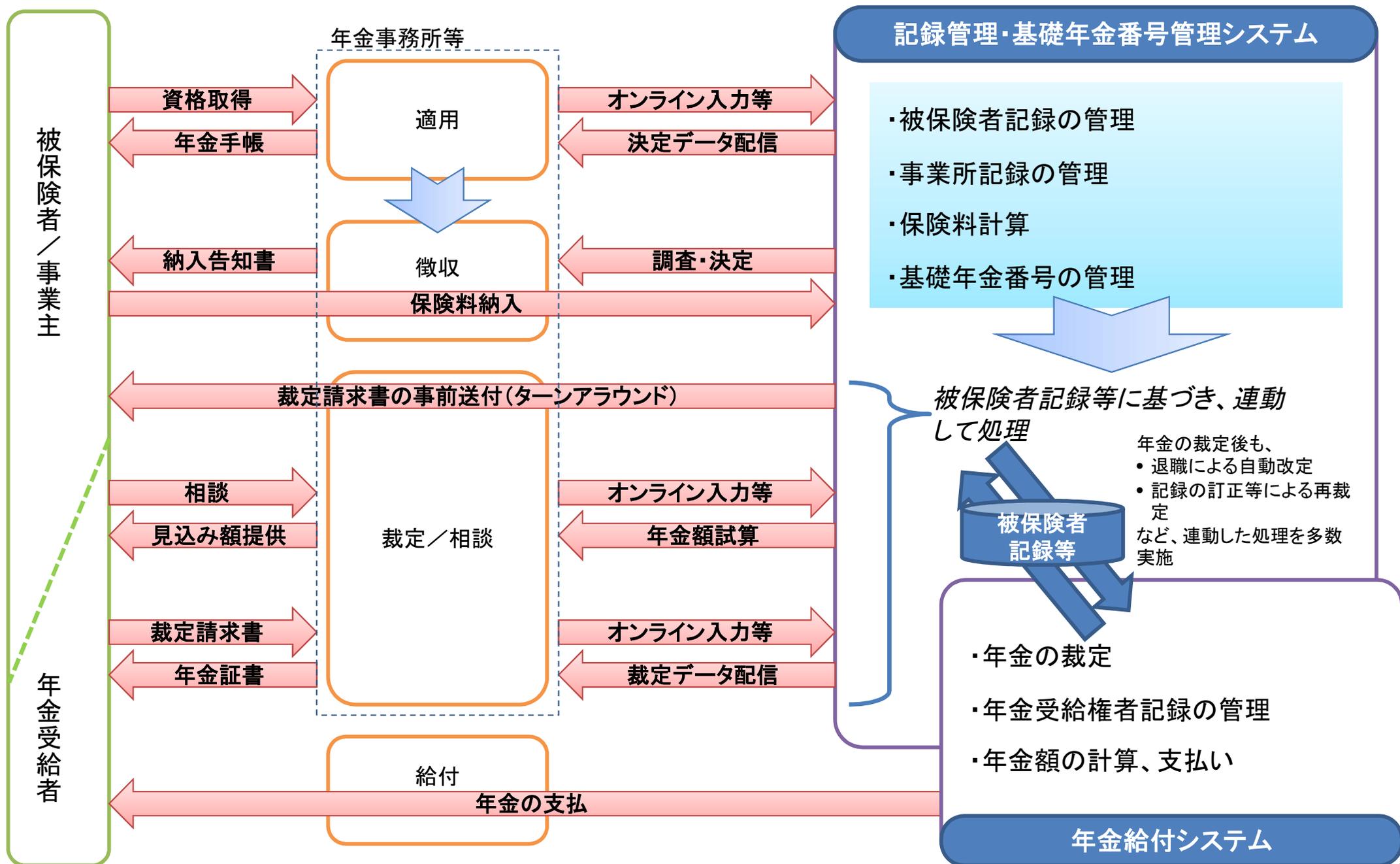


年金業務のシステム刷新について

1. 社会保険オンラインシステムによる事務処理の概略



2. 年金業務システム刷新の目的と課題

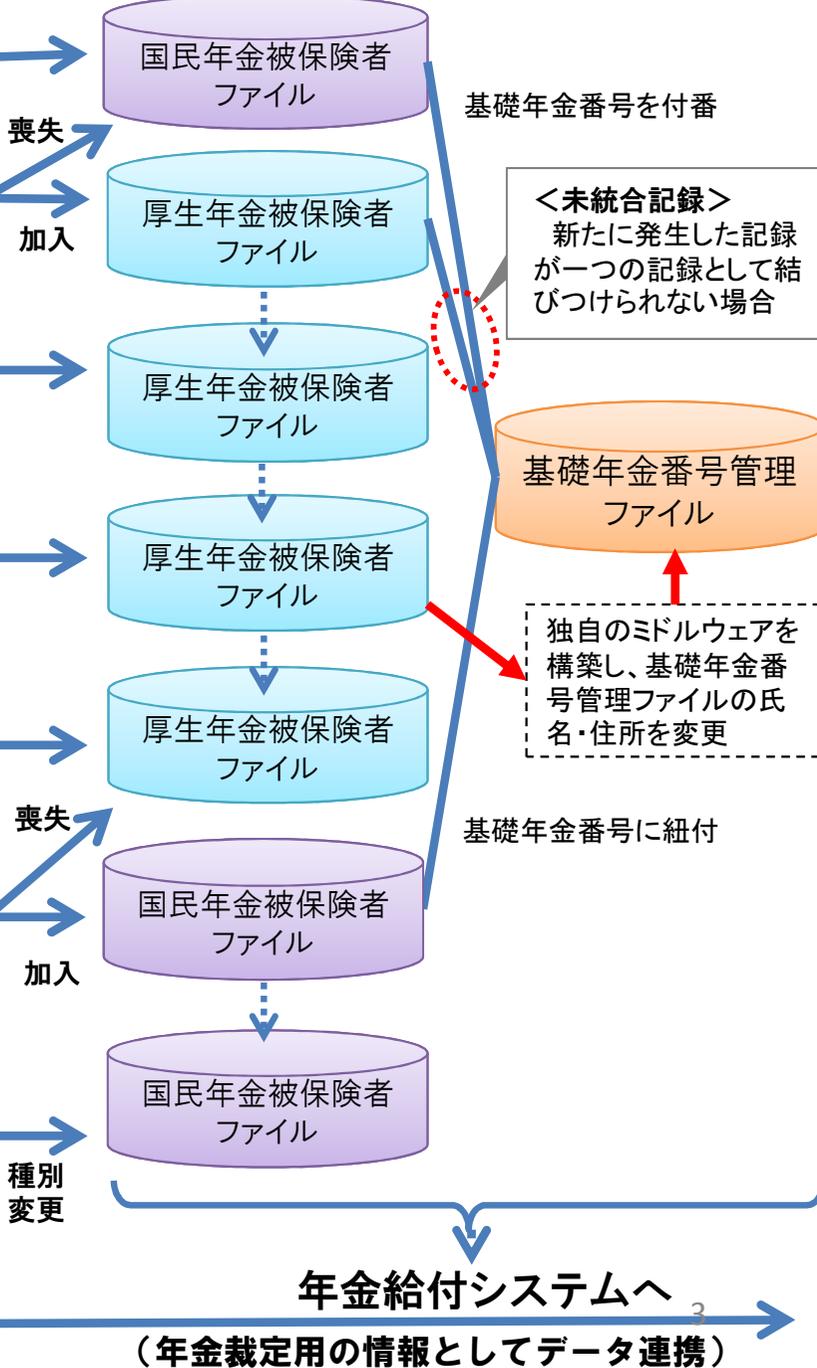
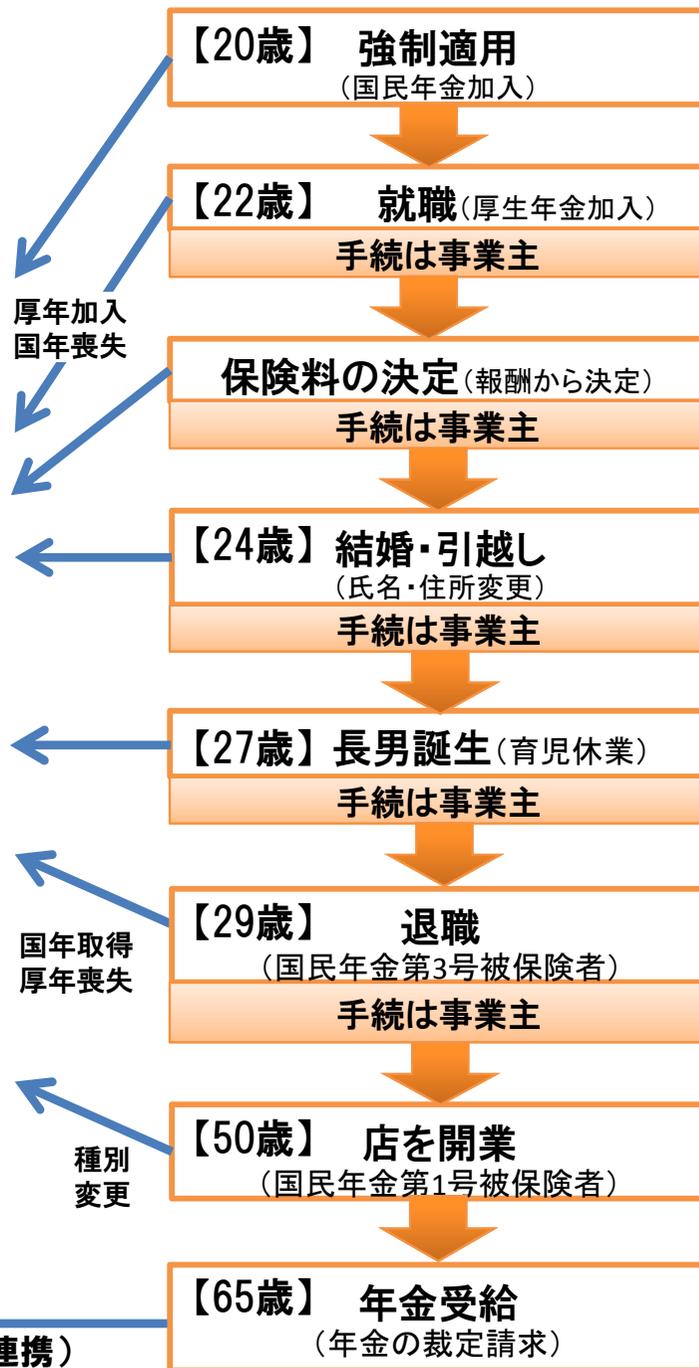
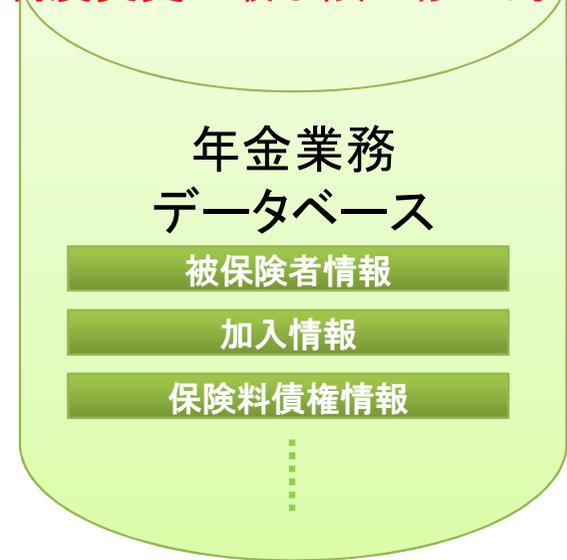
現行システムの構成	現行システムの抱える課題	刷新による課題解決の方向性	刷新後のシステムの構成
<div data-bbox="40 331 369 592" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">被保険者の記録の管理に関するシステム (記録管理システム等)</p> </div> <div data-bbox="40 619 369 879" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">受給者への年金給付に関するシステム (年金給付システム)</p> </div> <p style="text-align: center; font-size: 2em; color: #0070C0;">+</p> <div data-bbox="40 997 369 1468" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>手管理による業務 (例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保険料滞納者との折衝状況の管理 ・領収した保険料の現金払込書を手書きで作成 ・現金払込書の通番等を現金出納簿（紙台帳）に手書きで管理 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 国年、厚年等の制度ごとにデータベースや処理システムが構築され、データ・機能が重複している ◎ 制度改正への対応として既存システムの一部修正を繰り返してきたため、システムの構造が複雑化している ◎ 上記の結果、ベンダーによってシステムが独自管理され、運用コストが増大している（著作権もベンダーが保有） 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 年金記録を個人単位のライフサイクルで管理する方式に改める ◎ 制度ごとに構築された処理システムを機能ごとに再編する ◎ 上記によって全体の構成を簡素化・構造化することで、制度改正への対応を容易にするとともに、機構主体の管理を実現し運用コストを削減する（プログラムもオープン化） ◎ 業務フローの見直し・手動業務のシステムへの取り込みによって、業務処理プロセスを統一し、業務効率化とサービスの向上を図る 	<div data-bbox="1601 300 2206 1173" style="border: 2px solid red; padding: 10px;"> <p style="text-align: center; font-weight: bold; color: #C00000;">年金業務システム</p> <div style="border: 1px solid yellow; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <p style="color: #C00000; font-weight: bold;">フェーズ1</p> <p style="text-align: center;">業務共通のサブシステムの構築</p> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">経過管理・電子決裁</p> </div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <p style="color: #C00000; font-weight: bold;">フェーズ2</p> <p style="text-align: center;">業務ごとに特化したサブシステムの構築</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 5px;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px 10px;">適用</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px 10px;">徴収</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px 10px;">給付連携</div> </div> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">記録の移行</p> </div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <p style="color: #C00000; font-weight: bold;">年金給付システムの最適化</p> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">年金給付システム</p> </div> </div> <p style="text-align: right; font-size: 0.8em; color: gray;">※年金給付システムについては、別途、見直しを検討。</p>

3. 国民のライフサイクル（例）から見た新システムのイメージ

新システム（個人単位）

現行システム（制度単位）

個人の履歴を统一的に管理
制度変更に最小限の修正対応



年金給付システムへ
(年金裁定用の情報としてデータ連携)

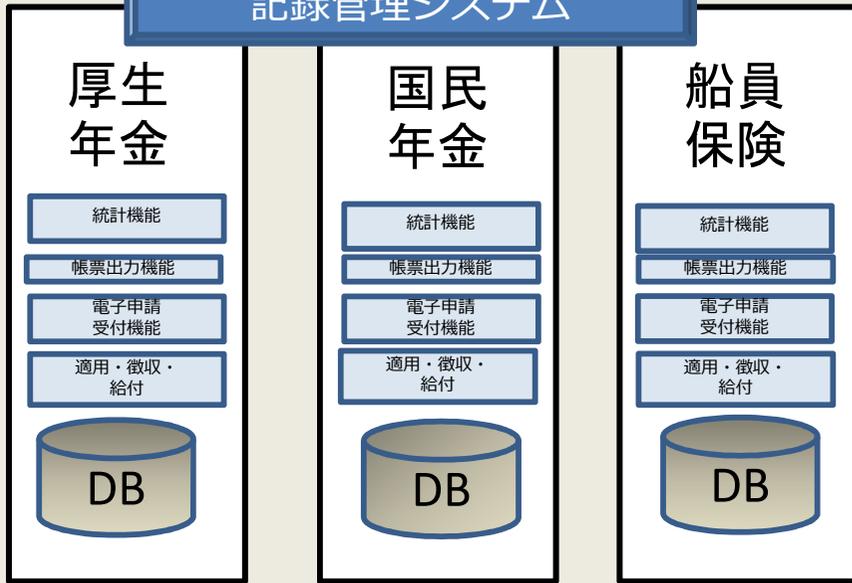
年金給付システムへ
(年金裁定用の情報としてデータ連携)

4. システム刷新の概要

- 現行システムでは、各制度ごとに分立した業務機能やデータベース等について、刷新システムでは統合・共通化。
- フェーズ1において構築する「業務共通機能」に引き続き、フェーズ2では、各個別業務機能の構築及びデータ移行等を実施。
- 年金給付システムについては、平成29年度に刷新可能性の予備的調査を実施予定。

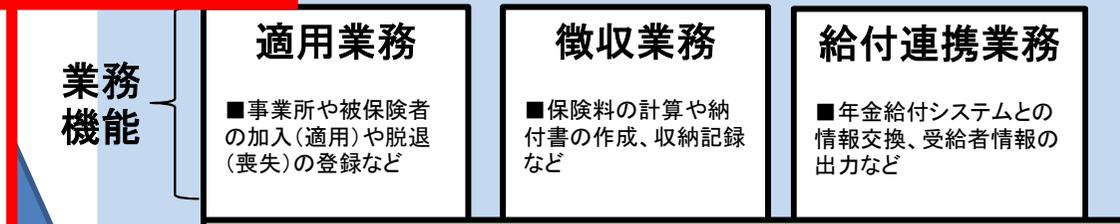
現行システム

記録管理システム

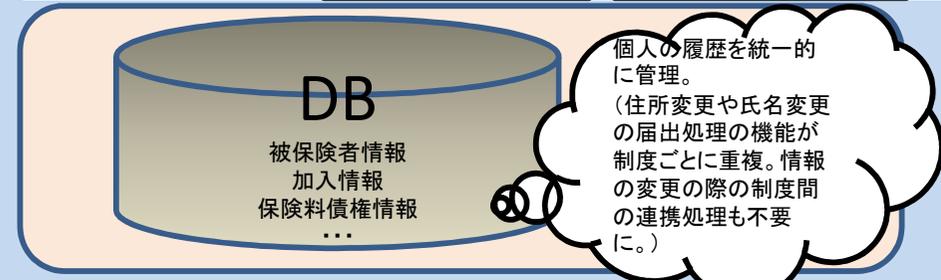
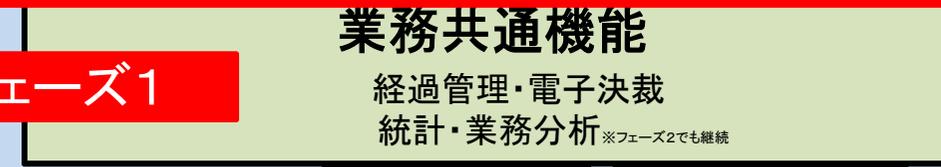
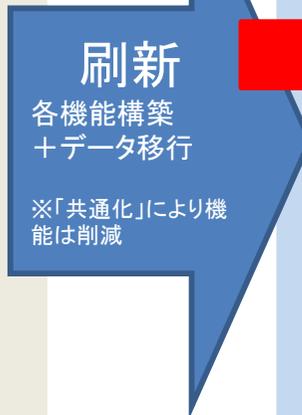


刷新後の年金業務システム

フェーズ2



フェーズ1



【現行システム】

- ベンダー保有のシステム.....ベンダールールの運用
- 制度毎のシステム.....機能の重複
- 制度別のデータベース.....データの重複
- 弱体な情報分析機能.....定型処理のみ

【刷新システム】

- 厚生労働省保有のシステム.....機構主体の運用管理
- 機能ごとの処理システム.....機能を簡素化
- 個人別データベース.....データを簡素化
- 情報分析機能の強化.....タイムリーな統計業務分析

年金給付システム

年金制度改正や記録管理システムの刷新の状況を踏まえながら、平成29年度における刷新可能性の予備的調査を計画。

5. 社会保険オンラインシステム（記録管理システム）の刷新に関するスケジュール （「業務・システム最適化計画」に基づくスケジュール）

